



平成20年11月11日

各 位

ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社
代表取締役社長 山口浩行
(コード番号：3390)

問合せ先 経営企画部長 村上孝徳
電話番号 03-3568-1305

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年8月5日付当社「平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成21年3月期 業績予想の修正等

(1) 第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	第2四半期純利益
前回予想(A)	1,165	19	13	12
今回修正(B)	1,137	△155	△147	△140
増減額(B-A)	△28	△174	△160	△152
増減率	△2.4%	-	-	-
(ご参考)前中間期実績	1,076	△316	△319	△324

(2) 修正理由

第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を發した金融不安の高まりや、素材・原油価格の高騰等を背景に、企業業績及び個人消費も失速し、景気沈滞の長期化を見せております。このような情勢の下、当社は本格的な業績回復に向け自社営業力の強化、パラマウントベッド株式会社との業務提携による営業推進に加え、第1四半期には株式会社光通信と資本業務提携を行い、売上拡大に尽力してまいりました。

この結果第1四半期では、24ヵ月ぶりに営業黒字という結果を残すことができましたが、第2四半期におきましては主に 1. 急速な景気後退の影響による大口ASPシステム受注の下半期以降への期ずれ 2. 株式会社光通信との資本業務提携を最大限活用するための人員体制構築による販売管理費の増加 の2つの理由から大幅な営業損失を計上する見込みとなりました。

(3) 通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	2,467	150	138	134
今回修正（B）	2,500	18	24	19
増減額（B－A）	33	△132	△114	△115
増減率	1.3%	△88.0%	△82.6%	85.8%
（ご参考）前通期実績	2,309	△499	△506	△622

(4) 修正理由

第3四半期以降につきましては、引き続きASPシステム受注において苦戦が予測されます。しかしながら、景気動向に左右されない介護システムの受注が期初と比較して月額で4倍程度の順調な伸びを示していること、第2四半期において期ずれした大口ASPシステムの受注がある程度見込めること、さらには、株式会社光通信との業務提携効果も順調に上がり始めており、第4四半期以降の業績に大きく寄与するものと考えております。

この結果、第3四半期におきましては引き続き厳しい状況が継続するものの、収益面では第4四半期には本格的に業績が回復する見込みですが、期初予測に対しては特に第2四半期におけるマイナスをカバーする事が困難と考えられる事から、通期の業績予測を修正いたします。